

平成 28 年度業務実績評価における評価委員会の主な指摘事項

- 法人自己評価の評価理由が不明瞭である項目が少なくない。

(例：「4」が多いが、「4」とする理由が不明瞭。)

《参考》

- 5・・・年度計画を大幅に上回って実施している（特に優れる若しくは顕著な成果がある）
- 4・・・年度計画を上回って実施している（上回る若しくは十分な実施状況）
- 3・・・年度計画を概ね実施している（実施）
- 2・・・年度計画を十分に実施できていない（下回る若しくは実施が不十分）
- 1・・・年度計画を大幅に下回っている（特に劣る若しくは実施していない）

- 「計画の実施状況」欄への具体的な記述が少ない。

- 自己点検・評価が的確に実施できるように、年度計画にはできるだけ数値目標を掲げる努力をお願いしたい。

《参考》

平成 28 年度 126 項目中 8 項目（6.3%）
平成 29 年度 164 項目中 9 項目（5.5%）
平成 30 年度 108 項目中 17 項目（15.7%）
(再掲を含む。)

- 北近畿地域各市町でのフィールド学習の実施は評価できるが、学生への学修成果がどうだったのか見えにくいいため、学生への学修成果を具体的に記述いただきたい。

- 中期目標、中期計画との関係性がわかりにくい。中期目標、中期計画の達成に向けて、どのような狙いで、どのような内容の改善を、どの程度実行されたのかについて、明確に記述いただきたい。